

福島県医療機器開発・安全性評価センター整備事業【復興】

令和6年度概算要求額 2.8億円（3.2億円）

事業の内容

事業目的・概要

- 東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故により直接的・間接的な被害に直面した県内産業を復興すべく、医療関連分野のさらなる産業振興と集積を図ることを目的に「ふくしま医療機器開発支援センター」は開所した。
- 同センターは、医療機器の生物学的安全性試験から非生物学的安全性試験(電気的・物理的・化学的安全性試験等)まで、ワンストップで実施することのできる国内有数の施設である。
- また、実際の医療機関に備わる手術室や病室を再現した設備を有し、医療従事者向けの幅広いトレーニングによる人材育成や、医療機器のユーザビリティ評価の実施が可能である。
- 同センターの機能強化により、安全で信頼される医療機器の開発及び、適正かつ安全な使用の促進を図り、医療の安全確保と医療機器産業の発展を図る。

成果目標

- 平成24年度から令和9年度までの事業であり、本事業により、福島県における医療関連分野の産業振興と集積を図る。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

医療機器の製品開発、事業化までを一体的に支援

「ふくしま医療機器開発支援センター」が有する機能の強化を行う。

① 安全性評価機能

- 国内関係法令や海外規格にも対応する、大型動物を用いた生物学的安全性試験や、電気的・物理的・化学的安全性試験等を行う。

② 人材育成・訓練機能

- 実際の臨床現場に即した環境の提供による、医師、看護師の手技トレーニングや医療機器開発に携わる企業の医療機器の開発・改良の促進を行う。

③ コンサルティング・情報発信機能

- 市場・ニーズの目利き、法令・規格のコンサルティング・市販後調査等、医療機器分野への新規参入から事業化までの段階・状況に合わせた総合的なサポートを行う。

④ マッチング機能

- “ふくしま”のものづくり企業の特徴を活かした、部材供給、量産・OEM供給等のコーディネート、各種展示会の開催を行う。

【センター外観】



【飼育室】



ミニブタ
最大150頭
飼育可能